



参加
無料

定員
70名

資料代別
1,000円

全国植物工場研究拠点の一つ、
愛媛大学の人材育成プログラムを東京でも開催します。
Aコース[基礎編] 東京開催

栽培技術者および栽培指導者のための植物工場技術入門

【主催】一般社団法人日本施設園芸協会
愛媛大学植物工場研究センター(事務局)

【概要】温室や太陽光植物工場において、環境を調節しながら作物生産を行う際に必要となる基礎知識(環境要因とその調節, 植物の環境応答), 植物の生育状態の把握方法(手計測から植物診断ロボットまで), コンピュータやセンサーを用いた情報化, 食品の安全安心などについて、愛媛大学植物工場研究センターの教員が一般の方々を対象に分かりやすく説明します。前提知識のない方でも御理解頂けます。



2015.
8/3[月]・4[火]

東京大学 農学部
2号館 1階 121号室
文京区弥生1-1-1

日付	時刻	講師	科目・内容
8/3 [月]	9:30-11:00	仁科 弘重	気温・湿度の基礎
		気温と湿度(飽差, 相対・絶対湿度を含む)の成り立ちについて分かりやすく説明します	
	11:10-12:40	仁科 弘重	暖房の基本
		暖房に注目して, 環境制御の基本を説明します。効率的な暖房とは何かを理解できます。	
9:00 受付開始	13:30-15:00	羽藤 堅治	施設生産の情報化
	温室の情報化の進め方について知識を増やせます。		
	15:10-16:40	高山 弘太郎	光合成と蒸散の基本
		光合成と蒸散の基本を理解します。飽差管理と増収が直結しない場合があることを理解できます。	
8/4 [火]	9:30-11:00	高山 弘太郎	群落光合成と環境制御
	群落内の光合成機能の分布を理解します。効果的な補光・二酸化炭素施用とは何かを理解できます。		
	11:10-12:40	有馬 誠一	安全・安心食品の提供
		植物工場に期待されている安全・安心食品についての基礎を理解します。	
9:00 受付開始	13:30-15:00	有馬 誠一	オートメーションと機械化
	経営規模拡大の際に必要な不可欠となるオートメーションと機械化についての基礎知識を身に付けます。		
	15:10-16:40	高山 弘太郎	生体情報の活用
		テープカメラを用いた基本的な成長評価から植物診断ロボットを用いた高度な生体情報活用まで網羅します。明日から使える生体情報活用サービスも紹介します。	



- ❖ 地下鉄南北線 東大前駅(徒歩1分)
- ❖ 駐車場はございませんので、公共交通機関をお使い下さい。

参加申込・お問合せ先

- ❖ 参加申込HP:
<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyua2/mpmailec/form.cgi>
- ❖ 問い合わせ: 高山・高橋(事務担当 大内)
(愛媛大学 農学部・植物工場研究センター)
E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp